

か さい せい ひ やく コロナ禍からの再生と飛躍

令和2(2020)年開催予定だった「かごしま国体」と「かごしま大会」は、新型コロナウイルスの影響で、3年延期となりました。延期という前例のない事態にぶつかっても、選手や関係団体は夢舞台での飛躍を見据えて練習を重ねました。県民は、延期以降も気運盛り上げに一体となって取り組み、コロナ禍からの再生への歩みを進めました。



かごしま国体の延期決定後に設置された看板(鹿児島市与次郎2丁目)

夢の舞台へ、努力惜しまず

■かごしま国体・大会出場向け競技に励む選手たち



弓道の少年女子



障害者スポーツの陸上



サッカー少年男子



障害者スポーツのアーチェリー



障害者スポーツの水泳

■本番見据え、リハーサル大会実施

空手道



令和4(2022)年8月27・28日、薩摩川内市のサンアリーナせんだい

ソフトボール



令和4(2022)年9月23~25日、南九州市の知覧平和公園多目的球場ほか

車いすバスケットボール



令和5(2023)年6月3・4日、いちき串木野市総合体育館

馬術



令和5(2023)年6月10・11日、霧島市牧園の特設競技場

スポーツクライミング



令和5(2023)年6月10・11日、南さつま市加世田の特設会場

銃剣道



令和5(2023)年7月2日、霧島市の霧島市立国分中央高校

県民一体、気運つなぐ



肥薩おれんじ鉄道「かごしま国体・全国障害者スポーツ大会PR」ラッピング列車運行



肥薩おれんじ鉄道のラッピング列車に乗り込んで大会をPRするマスコットキャラクターの「ぐりぶーファミリー」



国体開催150日前、JR鹿児島中央駅東口駅前グッズを配布しかごしま国体をPRする広報ボランティア



霧島市には大会マスコットのぐりぶーと大会ロゴがあらわれた郵便ポストが登場



南さつま市で開かれたかごしま国体のボランティア講習会。笑顔や手の振り方などの実技を教え、おもてなしの心得を学んだ



始良市の重富中学校の生徒がかごしま国体をPRするモザイク画を製作。開催300日前イベントで競技会場のピーラインスポーツパーク始良(市総合運動公園)に飾られた



錦江町の小中学生は、たたき染めでかごしま国体の応援手旗を制作



曾於市末吉町には、かごしま国体を応援する「アート田」が出現



開催200日前で、薩摩川内市が市内10カ所に看板や横断幕を設置



軟式野球と弓道の会場となる出水市では、地元の出場選手や実行委員、運営ボランティア、中高生ら700人が集まり市民総決起大会を開催

両大会のあゆみ

「コロナ禍からの再生と飛躍

奄美群島日本復帰70周年記念

後催県との交流

数値で振り返るかごしま国体・かごしま大会

監督・選手等名簿

2020年出場予定選手

両大会のあゆみ

「コロナ禍からの再生と飛躍

奄美群島日本復帰70周年記念

後催県との交流

数値で振り返るかごしま国体・かごしま大会

監督・選手等名簿

2020年出場予定選手